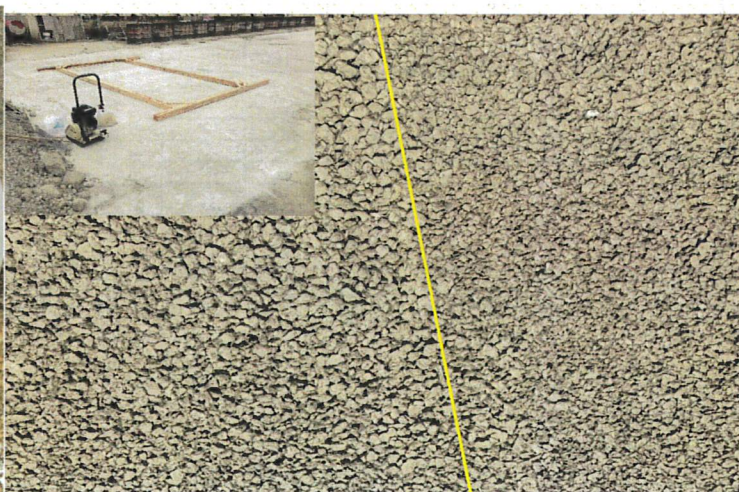
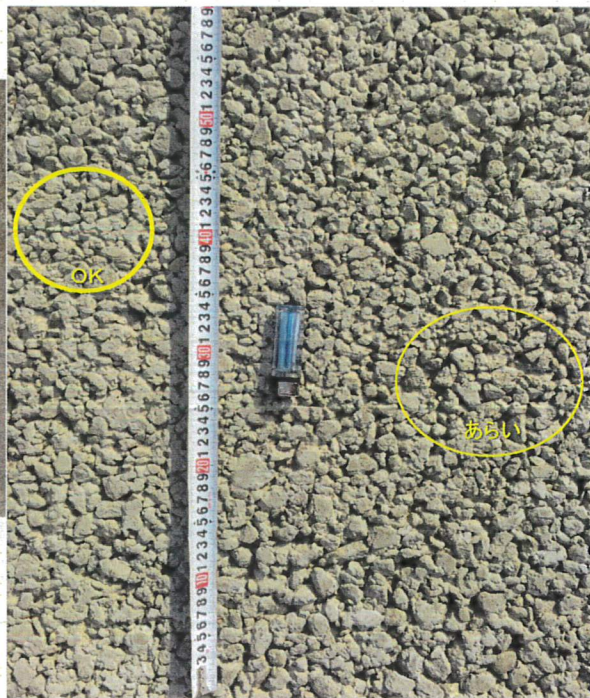
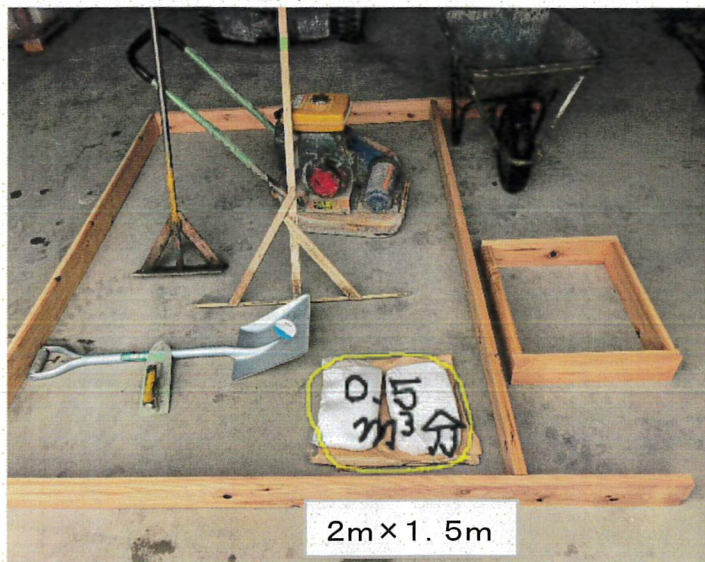


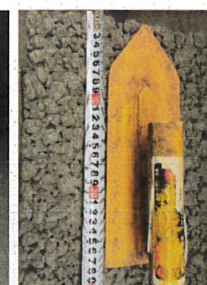
[illegible]

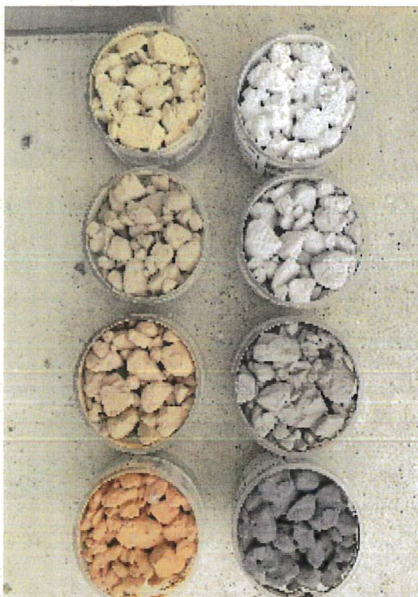


見学会道具



2m × 1.5m





ローラー 12m²位
吹付け 20m²位



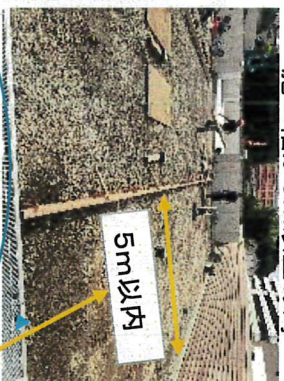
ドライテック施工注意事項

用意する道具

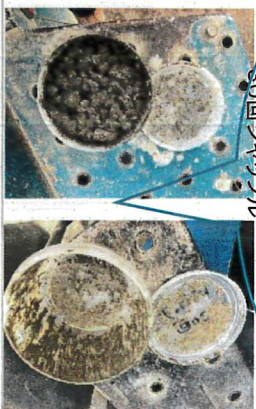


型枠設置

施工幅が5m以上の時



F材 10kg 遅延剤 ドラム停止運搬
プラントで生コン車に投入

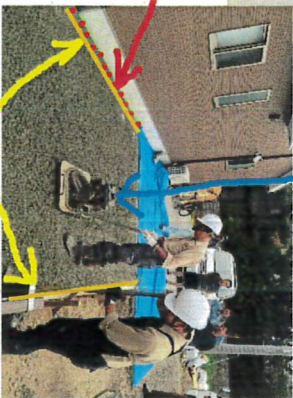


状態確認 プラント出荷時
現場材料受入れ(施工者様)
生コン車到着1台ごと確認
30回シャッフル

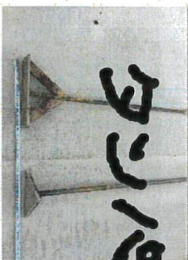
状態が柔らかすぎたら セメントを入れて調整する
かたい時には 高性能減水剤で調整する
1m3に対して100ccの原液で調整する



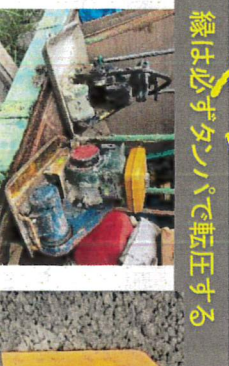
中はプレートで転圧



プレートをかけるタイミングは
目つまりがおきないべらい
骨材が濡れ色になっているとき
仕上げた所は歩かない



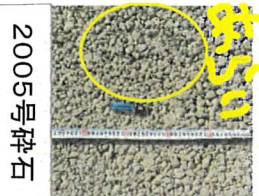
道具



縁は必ずタンバで転圧する



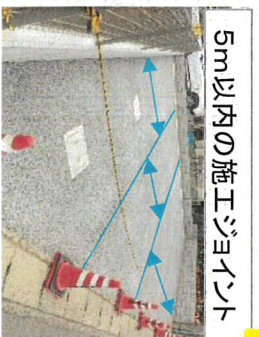
1台目の終わり 2台目の始まり



小さい

大きい

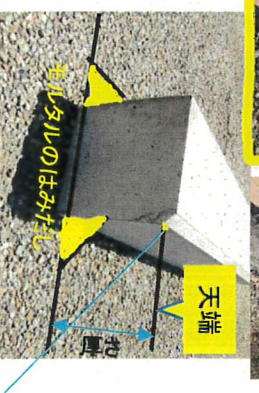
5m以内の施エジョイント



型枠を外す時には
手前に引く

上にあげると型枠と一緒に
材料が持ち上がったしまう

地先ブロックなどの 面
部分には、接着しないので
面下 天端とする
基礎モルタルははみ出さない
ようにする

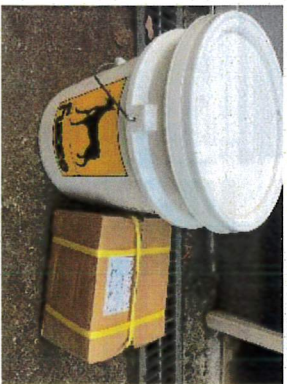


天端

モルタルのはみだし

トップコート 1セット

ローラー塗 12m2ぐらい
吹付け 20m2ぐら



ドライテック施工後翌日以降塗る

標準色 8色



m2数量で割り振って施工

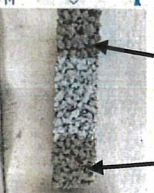


水希釈/セット 4.8kg

補修ポイント



セメントミルク



フレミックス



生コンプラントで生コン車に材・遅延剤投入



骨材につやがあり目詰まりしていない

注文 長岡生コンクリート 生コンポータル 渡辺 090-6596-1825

施工歩掛

FAX 055-947-0052

材料の計算 縦×横×厚さ=m3 ÷0.85(経験値)=0.25m3単位
1日 200m2施工 厚さ10cm 23.75m3
敷き均しが12cmなので 200m2×12cm=24m3

ドライテック2005号 24m3

世話役 1人I (施工管理)

特殊作業員 2人I (レーキ・ブレード)

普通作業員 I

2人I (縁の均しとタンバ転圧)

普通作業員 II

2人I (一輪車運搬) 生コン車から30m以内

●施工日前の事前計画 (該当したら☑を付ける)

- ドライテックについてのおおまかな知識を得る、どんな製品？どこで使う？
(長岡生コンHP、フッコーHP、You Tube、施工方法などのイメージをつける)
- 住所の確認 (地番と住居表示) 生コン車・作業車の駐車場所
- 重運規制はないか？ 10t・8t・5t・4t車両が使えるか？
- 搬入経路、小運搬経路の確認 (阻害するものはないか、経路が長すぎないか、30mで一輪車2台程度必要)
- 現場の用途 (駐車場、通路、犬走など)、面積、厚さ、周辺環境 (土砂流入など) の確認
- 発注数量を確定 ($\approx 8\text{m}^3/\text{m}^3$)
- 近隣のGNN加盟プラントを確認 (プラントから現場まで1時間30分大丈夫) ドラム停止で運搬
- プラントへ配合の確認 (骨材の種類確認基本砕石)、場合によっては試験練りを依頼し水量を確定し、F材・遅延材の投入方法の指示
- 施工日の確認およびF材の発注手配、(長岡生コンクリート) フッコー様からプラントへ納入
- プラントの予約 (打設日、数量、車両サイズ、搬入時間) と遅延割の確認 (フローリックカボソリスの超遅延型)

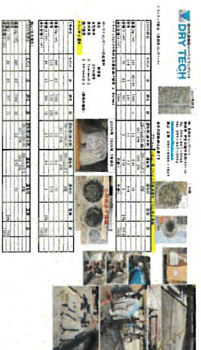
※2台・3台と続く場合は、搬入ピッチを決め、指示をする

※道具の確認

●施工当日

◎プラント 必ず 残水確認・ドラム停止運搬

- プラントへ再度の確認 (天気・時間・搬入計画)
- プラントにおいてアジテーター車に製品の積み込みと同時にF材・遅延剤投入完了後、(2分以上の高速撹拌)
- プラントでダレ試験の実施 (ドライテックの調整) 固い時水調整 (ガンで10秒) やわらかい時 (セメント5kg投入撹拌)
- ドラムを巡回転のまま現場へ搬送 (プラントよりドライバーは高性能減水剤を持っていく、2m³で300ccで調整) 調整後必ずダレ確認 高性能減水剤は生コン車洗浄用にも使える



◎現場

施工前

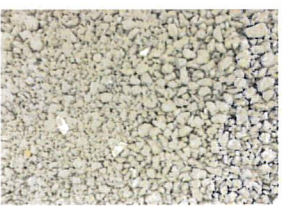
- 打設箇所の確認 (道具、下地、型枠、厚み10cm以上、数量、周辺環境)
- 施工計画の確認 (施工幅5m以下、総延長の長さ、継ぎの位置、施工道具と型枠など副資材ブルーシートのチェック、計画打設厚+20mm (転圧時の下がり厚さ) の確認・墨だし)
- ドライテック到着、施工業者様ダレ試験の実施 (ドライテックの調整) 現場は高性能減水剤で調整

材料が固い時、高性能減水剤 ドライテック1m³に対して100ccぐらい入れて調整 やわらかい時セメントで調整

施工中

※プレート専門要員が全体の計画を指示するのが望ましい。

- トンボ・レーキで均し、計画施工厚+20mmと平坦性の確保
- 型枠の端部、縁石などの役物回りの転圧 (タンバ転圧+コテ押さえ)
- 仕上がり面に「目の隙間・抜け」がないか確認
- 骨材のテカリが無くなる程度でプレート転圧
 - ※タイミンク (早い：目詰まりを起こす 遅い：飛散の原因となる)
- プレート転圧のタイミンクを見ながら小運搬搬入をする
 - ※乾燥が早くなる (飛散の原因)、あまり抜けすぎない (継ぎ目部分をシート・高性能減水剤などで乾燥を防ぐが色が変わる)



☆2台目・3台目と続く場合

- 続きの車両の搬入時間の確認 (今降ろしている車両材料が半分ぐらいで確認) とにかく続けて打設する

※交通事情などで、到着が遅くなる場合はジョイントにシートをかける (高性能減水剤を噴霧して乾燥を防ぐ)

※打ち継ぎ30分以上空いてしまう場合は型枠で区切る

※枠で区切った際にでる余剰材は、下層に敷設する

- ☐ 新規車両から先に出て来る材は、骨材の大きさに寄りが出ているので下層に敷く（一輪車3・4台分）
- ☐ 先行して打設された打ち継ぎ部を荒らさない・さわらない・出来れば乗らない（飛散の原因となる）
- ☐ 先行して打設された表面に乗らない（特に角・端部）石を動かしたら飛散する

サビ



●施工後の注意点（事前説明必要）

- ☐ コンクリート製品なので、クラック・白華・収縮はおこす
クラック：非常に目立たないが、発生する箇所は土間コンと同じ
白華：シート養生や乾燥中に過剰な水分がかかった場合に発生する、車両が変わった時も発生する
収縮：打設規模が大きく、縦横長さが偏った場合、端部に隙間が出る場合がある
骨材のばらつきがある場合がある 骨材が鉄分を持っているとサビが出ることがある
- ☐ 色ムラ：ペーストの付着具合により変わる（プレート・コテ均しで起きる）
- ☐ 施工後7日間は車両を載せない
- ☐ 車止め・支柱などを立てたり、アンカー施工をする場合は7日以上あける。カッターは施工後 中3日に入れる
- ☐ 打設後4時間以内に降雨が予想される場合は、雨養生をする
※表面にシートがつくとその部分は白くなり白華する
- ☐ 施工後しばらくは多少の飛散が見られるが、時間の経過とともに収まる
（点接着のため、完全に密着されない部分が発生するため）
- ☐ コンクリート製品なので、乾いてから動かすと飛散してしまう（1日はそっとしてください）
アスファルト舗装とは違う、（温度が下がれば乗れる）
- ☐ 養生テープは転圧後すぐに撤去するか、施工後2日ぐらいいしてから撤去
型枠撤去は、上にあげないで手前 横にパラス 材料が接着され型枠についてしまう時があるので
- ☐ 手引作業の为抓手かない程度の段差は出ます

クラック

